

令和3年度学校自己評価システムシート (県立越生高等学校)

目指す学校像	生徒一人一人の長所を伸ばし、社会で活躍できる「人材」の育成を目指す学校
--------	-------------------------------------

重点目標	1 主体的な学びによる基礎学力の充実と専門的な能力の向上
	2 豊かな心と自主的・自立的な態度の育成および進路意識の向上による進路希望の実現
	3 保護者や地域と連携した安心・安全な開かれた学校づくり

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	8名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	4名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標			年 度 評 価 (2月1日 現在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒が授業に取り組み、授業規律は改善されつつあるが、日常生活で落ち着かない生徒がまだ見られる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習状況の改善。 ICT機器を用いた授業や課題の提示、そして評価の方法についての学校全体での取り組み。 BYOD利用についての教職員及び生徒の共通理解。 	<p>○学びの質の向上</p> <p>○学習環境の整備と学習意欲の向上</p>	<p>①教科を横断した学習時間を設ける。</p> <p>②ICT機器の効果的な活用に取り組む。</p> <p>③教員同士の自主的な授業参観によって授業改善に取り組む。</p>	<p>①②学習内容を理解できる生徒が増えたか。</p> <p>③授業見学や情報共有が行われたか。</p>	<p>学びの質の向上にICTの活用が効果を上げた。</p> <p>①②Chrombookの活用やプロジェクターでの動画視聴が各教科で実施された。また、classroomによる課題配信も進んだ。学校評価アンケートでは8割の生徒が学習内容を理解できている。</p> <p>③年次研修者を中心として授業見学や情報共有が進んだ。</p>	B	<p>○整備されたBYODの環境を活用すること、令和5年度入学生から始まる1人1人端末がある状況への校内体制づくり。</p> <p>○家庭学習や主体的な学習を促す教科指導や進路指導が必要である。</p> <p>○学年や教科が連携した検定試験に取り組みやすい日程調整や、補習実施のための教員の業務調整が必要である。</p> <p>○観点別評価に係る評価基準の公開を生徒に適切に行い、学習活動への見通しを持たせることが必用である。</p>
2	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒が落ち着いた学校生活を送っている。一方でネット上での人間関係のトラブル以上に、規範意識の低さから生じている問題行動がある。 きめ細やかな進路指導により、希望する分野に進路を決める生徒が多いが、自己の適性に合った進路を選択するのに時間がかかる生徒もいる。 部活動が盛んになってきているが、加入していても活動していない生徒がいる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 規範意識向上の取り組み。 進学や就職についての自己適性を理解させること。 課外活動へ参加する意識の向上。 	<p>○基本的生活習慣の確立と規範意識の向上</p> <p>○進路意識の向上と進路実現</p>	<p>①家庭と連絡を取り生徒理解に努め、教員の共通理解のもと基本的生活習慣を指導する。</p> <p>②ネットトラブル講演会や生徒指導に係る教室を実施する。</p> <p>③SCを活用した生徒の相談体制づくりをを委員会を中心に進める。</p> <p>④生徒会活動や部活動の中で、生徒自身が発表したり、仲間を取りまとめる場面を設定する。</p>	<p>①欠席、遅刻、早退数が減少したか。</p> <p>②問題行動が減少したか。</p> <p>③④生徒の自己肯定感の向上がみられるか。</p>	<p>ほとんどの生徒は基本的生活習慣が身につけている。</p> <p>①欠席、遅刻、早退数が多生徒の割合が昨年比1学期はほぼ同じ、2学期は2～6%増加した。</p> <p>②問題行動は若干増加した。</p> <p>③係を核として、SCの活用が進み、情報共有から次の指導につながっている。</p> <p>④制限のある中、各活動を行うことができた。授業以外の場面で生徒の良さを伸ばすことができ、自信を持つ生徒が増えた。</p>	B	<p>○特定の生徒に欠席遅刻が多い状況がある。家庭連絡を含め、基本的生活習慣を見直す目的や方法を指導していく必要がある。</p> <p>また、整容指導に関しては学校全体での取り組みとして、基準を明確にして指導していく必要がある。</p> <p>○問題行動の多くは規範意識の低さから生じている。日常生活を送る上での規範意識を家庭と共通認識を持ち、協力して生徒と関わっていくことが必用である。</p> <p>○生徒及び保護者が参加できる地域の行事を活用できるよう情報収集し、周知する。</p> <p>○将来を見据えた進路学習を実施し、進路意識を高めていく。校内での情報共有が大切である。</p> <p>○生徒の進路決定には保護者や関係機関との協力が欠かせない。連携を進めていく必要がある。</p>
3	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の方との学校行事でのふれあいや作品展示などにより、保護者・地域との連携を進めている。 令和3年度入学者選抜では募集人員は確保できたが、募集人員確保は厳しい状況である。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 募集人員の確保。 本校生徒が活発に行っている教育活動の中学生及び保護者への広報。 校内組織の変更による業務の引継ぎと改善。 	<p>○教育活動の積極的な情報発信</p> <p>○募集人員の確保</p>	<p>①ホームページに学校の教育活動を随時公開する。</p> <p>②学校行事への関心を高めるためにPTA会員への連絡を適宜行う。</p> <p>③創立50周年記念誌を作成する。</p>	<p>①随時更新できたか。</p> <p>②PTA会員に理解・協力を得ることができたか。</p> <p>③実行委員会や事務局が連携し、作成することができたか。</p>	<p>教育活動を発信できた。</p> <p>①各担当で随時更新。行事の動画を含め、108回更新できた。</p> <p>②渉外部を通し、行事の参加方法を含め、適宜情報交換することができた。</p> <p>③実行委員会を3回実施。記念誌は2月下旬納品予定。</p>	A	<p>○学校の様子を発信する業務に関わる教員を増やすために、動画の作成や、ICTの活用研修を実施していく必要がある。</p> <p>○計画的な教育活動で制作される生徒の作品は数多い。展示・活用していただける施設との連携を進め、教育活動の広報を進める必要がある。</p>
			<p>①授業動画をホームページに公開する。</p> <p>②学校説明会を計画的に実施し、外部の説明会に積極的に参加する。</p>	<p>①授業動画を公開できたか。</p> <p>②計画的に実施できたか。</p>	<p>県の希望調査によると例年より厳しい状況である。</p> <p>①授業動画でなく学校行事(体育祭、文化祭)の動画を公開し、学校の様子を知らせることができた。</p> <p>②本校説明会は計画的に実施。外部の説明会にも2回参加できた。</p>	B	<p>○創立50周年記念事業を、実行委員会を中心に進め、大きな節目の行事を関係者と協力しながら実施していく。</p>

学校関係者評価
実施日 令和4年2月28日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・BYODは運用が難しい面もありますが、学習の補償とのバランスを見据えて、引き続き研究していただくと思います。 ・教科書だけでなくプロジェクターなどを使うと勉強しやすいのでたくさんの授業で使うとよいと思います。 ・生徒の習熟度に合った授業を展開いただいていることで、学習規律の向上につながっていると思います。引き続き粘り強いご指導をお願いいたします。 ・検定試験の合格者が増えたことは良いことだと思います。次年度以降もみんなが受けたくなるような勉強方法で楽しく勉強できるといいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・特定の生徒に欠席遅刻が多い点を見直す方法について具体的に進め実行していくことで、昨今の事件発生の減少につながると思います。 ・欠席や遅刻が多い生徒には自分でしっかり原因を見つけて気を付けてほしいと思います。 ・越生駅や駅前の商店、学校近くのコンビニでの生徒の様子、登下校の様子から多くの生徒が規範意識を持ち自他を大切に心が備わっていると感じます。これは、普段の授業で生徒と教員がともに学ぶという学び合い学習が取り組まれている成果と考えられます。 ・コロナの中、教員・生徒だけでもいろいろな行事ができたことは良かったと思います。 ・登下校時に見かける生徒さんの様子から楽しい学校生活を送っていることが伝わってまいります。さらに進路指導を通して生徒の自己実現に向けた指導を充実されていること、すばらしいと思います。 ・進路実現に向けた模擬授業は、生徒一人一人にとって貴重な経験となり生かされていくと思います。一人一人の適性に合った進路を導いていただきたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにより、保護者や越生高校に興味ある中学生に学校の様子を知ってもらうことができる。ぜひ更新を継続していただきたい。 ・ホームページからの閲覧となりましたが、白梅祭の風景からは生徒さんのユーモアな発想が伝わってきました。制作風景や卒業会場からは、作品の力強さや努力が感じられました。 ・地域行事に参加することで、日常と違う人との出会いや発見があると思われます。ぜひ実現してほしい。 ・観光協会や商工会とタイアップした活動が生徒の学習意欲の向上、学校のPRになると思います。 ・募集人員については年によって差が出てしまわずね。コロナで説明会等が十分にできない中ですが引き続きよろしく願っています。